

松江地区 里親だより

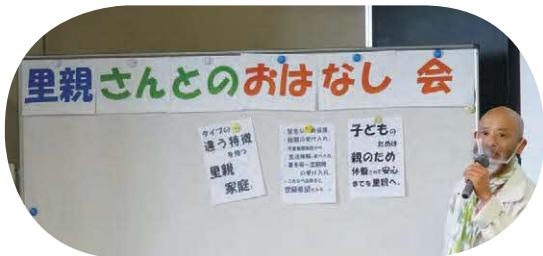
発行：島根県松江地区里親会

〒690-0823 島根県松江市西川津町3090-1 島根県中央児童相談所内
TEL:0852(21)3168 FAX:0852(21)3163

松江地区里親会会长 柏木 直人

里子の決意が最優先される

児童養護施設や里親家庭に措置された子どもの生活は、最長18歳になるまでと決まっていますが、そこにいる期間は決まっていません。もちろん、その間に親元との関係が修復すれば、関係機関の協議によって家族の元へ帰るようになります。大切なのは、里子本人の想いや決意の大きさが優先されることです。このことは、子どもの権利を尊重する権利条約などで決められています。いいえ、それだけではありません。私はもっと大きく大切な理由があると考えています。



▲第8回目となった
「里親さんとのおはなし会」にて

里子の目標に支えられる里親

私たちの里子は進学を目標として、20歳まで措置延長する国の里親制度の活用を決めました。「里親の元で生活したことは当たり前だと思っていたがそうではなかった。子どもが最初に出会う保育という集団生活の場の保育士を目指したい。」これがその大きな理由でした。



この子は私たちに授かった7人の孫たちを、まるで弟や妹のようにしてかわいがってくれました。そうやって積み重ねられた生活が里子の目標に繋がったのかと思うと、預かった里親としては何にも替えがたい喜びを感じます。と同時に、一歩ずつだけど成長していた里子に、実は支えられていたのは私たち里親だと改めて強く思った次第です。

さまざまな家庭の里親を知ってほしい

里親の家庭はさまざまにあって、特定なものではありません。ですから「ねえ、チョット小耳にはさんでよ♪“さとおや”を」という感じで、たくさんの里親の話を機会のあるごとに聞いてください。また、里親の家庭を知つていただくために、子どもの生活する場を見学のつもりで、お茶でも飲みにおいて下さってかまいませんよ。だってホラ、里親と言ったってネ、町のどこにでもあるひとつの家庭なわけですから……。



▲養育体験を話す宇都宮副会長（写真中央）

「里親だより」によせて

島根県中央児童相談所長(松江地区里親会顧問) 太田 均

今年度当初からコロナ禍が猛威を振るい、忘年会や新年会はもとより折々の家族での外食も控えるなど萎縮した生活が続いています。いずれ迎える収束まで上手にウイルスと付き合っていく我慢強さを試されているような気がします。

こうした家庭で顔を合わせる時間が増え、時には窮屈になる家庭生活で起こってくる様々なストレスが、虐待やDVを誘発すると警鐘が鳴らされていました。幸いなことに当地区では昨年度より若干減少傾向であり胸を撫で下ろしているところです。

さて、今年度から始まった島根創生計画の中には「社会的養育の中心となる里親の担い手確保と里親の養育を支える体制強化のため、里親制度の普及啓発に取り組み、里親養育支援を充実」が掲げられています。児童虐待防止強化に続き、国も力を入れている家庭養育優先の原則に則った里親委託の拡充に今まで以上に取り組んでいかなければなりません。

また、児童虐待防止法が改正され「親権者は、児童のしつけに際して、体罰を加えてはならない」旨が明記され体罰禁止が明確化されました。しかしながら社会がしつけのための体罰を容認してきた文化や社会的規範が変わるには未だ時間を要します。我々は粘り強く子どもの心と体へのダメージや虐待の世代間連鎖を防ぐ取り組みを行っていかなければなりません。

こうした新たな課題も加わり、県民の期待も益々大きくなってきています。これまで以上に松江地区里親会、児童相談所、県青少年家庭課とで協働して取り組んでいくことが必要となります。引き続き皆様方のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

温かいご支援ありがとうございました!



中央：三原部長様 左：田中副部長様
右：中央児童相談所 太田所長

今年も島根県電気工事工業組合青年部様より、県里親会に「里子激励金」をいただきました。「里子さんたちのために役立てほしい」と長年にわたりご寄付をいただいている。松江地区里親会では、毎年いただいた激励金で里子さんへ図書カードを贈呈するなどしています。

また、今年度は、新型コロナウイルスが流行する中、島根県社会福祉士会様からマスクバンクにより集まった手作り布マスク、「LOVE POCKET FUND」様から全国里親会を通じて、体温計や消毒液、不織布マスクや介護用エプロンなどの衛生用品のご寄付をいただきました。これらは里子さんの委託を受けている里親の皆さんに配布したり、会の活動に使わせていただきます。本当にありがとうございました。



▲色とりどりで可愛らしい布マスク

初の試みに、松江地区里親会も参加！

「里親制度講演会・パネルディスカッション」(島根県社会福祉士会実施(島根県からの委託))

1月10日は雪でした。その雪を解かすかのような勢いを感じた1日だったと思います。体験談を語ってくれた25歳の元里子は、時折涙しながらもしっかりと読んでくれました。いま生きていることへの感謝と、これから希望が会場の皆さんによく伝わったと思います。

里親を知つもらう活動は、こうした小さな積み重ねをしながら、生活の場に浸透できるようにと願っているところです。

隠岐地区は親子交流会をしました!



2020年は全国で行事開催がことごとくはばかられる年となりました。隠岐島内においてもコロナウイルスという得体の知れない相手に誰もがピリピリとしたものでした。

そんな雰囲気の中でしたが、私は交流会を続けたい思いで皆さんに相談を持ち掛けました。幸い集まったお母さん方が快く賛同して下さり、開催の運びとなりました。

申し訳ないですが島外の方はお呼びせず、里親家族のみの集まりとしましたが、お父さん方が仕事なども重なり欠席されたので、子供3名と大人（里母等）5名の計8名となりました。

夕方5時頃からまずお借りした里親さん宅の周辺を散策、近所のヤギを見に行き、先日の台風による河川の崩れた傷跡やその時の様子を聞き、すごい台風だった事を改めて知りました。

夕食も子供達と共に切ったり並べたりしてもらい、バイキング式の会食としました。その後、廊下を使っての手作りのボーリング大会と、最後は庭での花火大会に、どちらも楽しく盛り上りました。少人数でしたが実に楽しいリラックスした時間となりました。

子供達の成長は早く、あっという間にお姉さん、お兄さんに育ちました。そんな中、すっかり思春期を迎えた子達の変化を今回は感じずにはいられませんでした。来年はまた成長した子供達に添った会を考えたいと思いを巡らせ、無事こうしたひと時を持てたことに感謝する年となりました。

（松江地区里親会副会長 三河 鈴子）



コメント「廊下でボーリング？良かつたねえ。参加したかったです。」

里親さんから貴重な声をいただきました😊

「里親・里子さんとのご縁」

私は、乳児院にいた3歳の男の子と特別養子縁組をし、年長の時、自然の会話のなかで実子ではない事を話しました。多少の変化やトラブルはありましたが、周りの方の協力もあり、時が解決してくれました。

今では明るいスポーツが大好きな少年へと成長しています。

時折社会生活の中で血縁関係の事が問われます。先日、病院の先生から（息子の前で）両親・祖父母の病歴について尋ねられました。慮外の質問に私は動揺し何も答えられませんでした。その日の夜、息子が「俺はサルから生まれた。」と言い、胸が引き裂かれそうでした。その後、たくさん遊んでたくさん話しました。

子育てに思い悩み、くじけそうな時、里親さんに相談します。共感してくれるお仲間でもあり私にとって教官もあります。

息子が思春期になり生い立ちの事で悩む時が必ず来ます、その時に里親・里子さんとの交流が息子の心を和らげると信じています。

私はこのご縁を大切にしたいと思います。



コメント「やわらかい手で包まれている里子のしあわせを感じますね。」

里親制度って？

様々な事情により自分の家庭で生活できない子どもたちを、児童福祉法の規定に基づき、里親が自分の家庭に受け入れ、実親に代わって公的責任の下で養育や保護を行う「子どものための」制度です。

どんな種類があるの？

- ★養育里親……親と暮らせない子どもを一定期間、自分の家庭に迎え入れて養育する里親
- ★養子縁組里親……養子縁組によって、子どもの養親となることを希望する里親
- ★親族里親……親が死亡・行方不明などの事情により子どもを養育できない場合に、親に代わって子どもの扶養義務者及び配偶者である親族（祖父母・きょうだい等）が養育する里親
- ★専門里親……虐待・非行・障がいなど、特に支援を必要とする子どもを専門的な知識を持って養育する里親

里親になるまでのステップは？

① 児童相談所へ相談 → ② 研修受講、調査 → ③ 審査・登録 → ④ 更新

※まずはお電話でご予約のうえ来所ください。里親制度について詳しくご説明します。

知ってください里親を！

～里親出前講座のご案内～

松江地区里親会では里親について多くの方に知つてもらうため「里親出前講座」を開催しています。

◆里親出前講座とは？

実際に子どもを養育した経験のある里親の体験談を聞いていただくものです。費用は無料です。「里親って何？」「里親をやっている人の話を聞いてみたい。」などご興味があれば、各種会合や研修会、少人数の集まりなどへ出前講座に伺います。お気軽に松江地区里親会事務局へお問い合わせください。（TEL 0852-21-3168）

お知らせ

第65回 島根県里親大会について

第64回島根県里親大会は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、次回の大会は次のとおり開催される予定です。

里親さんや里親制度にご興味のある方などお気軽にご参加ください。

日 に ち：令和3年8月8日（日）

場 所：出雲市役所本庁舎
大 会 議 室（くにびきホール）

※島根県里親会HPに詳細を掲載予定

※新型コロナウイルス感染拡大により、やむをえず中止する場合があります

こんな計画も考えています

「ねえ、チョット小耳にはさんでよ♪“さとおや”を」 ～普及啓発のためのミニおはなし会（計画中）～

今年度は、世界中が新型コロナウイルスの不安にさらされた1年で、感染予防も当たり前になってきたところですが、松江地区里親会でもその影響は大きく、里子・里親交流会や、島根県立大学との連携事業である里親対象の養育支援研修会など、予定していたさまざまな行事は残念ながらほとんど開催できませんでした。

そんな中、毎年10月に開催している「里親さんとのおはなし会」も、例年に比べると広報が十分にできず、開催が危ぶまれました。しかし、「たった一人でも来てくれる人のために開催しよう」という役員の強い言葉を励みに、コロナ対策をしながら開催したところ、20名ほどの参加によって貴重なおはなし会になったと思います。

そして、このようなコロナ禍だからこそ生まれたアイデアがありました。それが「ミニおはなし会」（少人数のおはなし会）です。今はまだ構想段階ですが、詳細が決まれば、島根県里親会ホームページ等に掲載したいと考えています。